

## 事例1 入学年次（1年生）の単元計画と指導の工夫

### 1 オリンピックの歴史やスポーツの文化的・社会的価値を知ることにより自ら学ぶ意欲の向上

入学年次（1年生）における体育理論の学習では、歴史的観点からスポーツの変容を学び、その文化的特性への理解を深めていくこと、そして、スポーツが社会の人々の願いや要求に応えることによって発展してきたことを論理的に考え理解できるようにすることを重視している。これらの学習は、今後、将来にわたって豊かなスポーツライフを送るための動機を与え、「する」ことだけにとどまらず、「見る」「支える」「調べる」など、各ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を考える契機となることが期待できる。

この実践では、体育理論を通して、生徒のスポーツに対する学習意欲が向上できるよう、近代オリンピックの歴史や政治・社会情勢について理解させ、そしてオリンピックムーブメントについて知り、現代スポーツの文化的価値や社会的価値について考えさせることをねらいに設定した。授業展開としては、生徒が学習内容への理解を深められることができるように、ワークシートといくつかの資料を準備し、ワークシートによって1時間の流れがわかる形で進めていくようにした。また、学習意欲を高めることができるようにグループで互いに意見を交換し、それをまとめる学習を設定するなどして、展開に変化をもたせるよう配慮した。

### 2 学習活動の概要

(1) 単元名：スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴

(2) 学習のねらい

- ・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、提示された課題の解決や情報収集、意見交換に積極的に取り組むことができるようにする。
- ・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、学習した知識をもとに分析したり、考えをまとめたりできるようにする。
- ・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。

(3) 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
①スポーツの歴史の変遷や文化的特性、現代スポーツの特徴について、発問に対する検討、資料の整理、話し合いに、進んで取り組もうとしている。	①スポーツの歴史の変遷について、資料に基づいてそれぞれのスポーツの特徴を指摘している。	①スポーツの歴史の変遷について、それぞれのスポーツの特徴を言ったり書き出したりしている。
②現代スポーツにおける文化的価値や社会的価値、あるいは問題について、関心をもち、進んで考えをまとめようとしている。	②スポーツの技術や戦術、ルールが、用具の改良やメディアの発展にともなって変容を続けていることについて、各スポーツの今後についてある程度予測している。	②スポーツの技術や戦術、ルールの変容とその要因について、言ったり書き出したりしている。
③現代スポーツがもつ経済的効果や影響力について、進んで情報を収集・整理し、理解	③オリンピックムーブメントについて知り、現代のスポーツの文化的価値や社会的価値について考え説明している。	③近代オリンピックの歴史と政治・社会情勢について資料を整理し、分類をしている。
	④現代スポーツの問題であるドー	④ドーピング問題についての事例を通して、スポーツが社

しようとしている。	<p>ピングについて知り、スポーツが社会に対して持つ影響力について自分なりの意見を説明している。</p> <p>⑤スポーツ産業について適切に情報収集と整理をし、経済との関係性について論理的に説明している。</p> <p>⑥経済がスポーツに与える影響について理解し、その問題点について説明している。</p>	<p>会に与える影響力について、言ったり書き出したりしている。</p> <p>⑤スポーツ産業について知り、スポーツと経済との関係性について言ったり書き出したりしている。</p>
-----------	--	--

(4) 指導と評価規準の計画 (7時間: 1年生)

時	学習内容	学習活動 (発問や学習方法)	評価方法・機会
1	ア スポーツの歴史的発展と変容	<p>○単元のオリエンテーションを聞く。 [発問①] 人はなぜ動くのか。(ワークシート)</p> <p>[発問②] 動物の約束とは。(ワークシート)</p> <p>○スポーツの語源について理解する。(板書①)</p> <p>○様々なスポーツの起源と現代スポーツへの発展について資料を読み取り、整理する。 (資料) (ワークシート) (発表)</p> <p>[発問③] 日本発祥のスポーツにはどのようなものがあるか。(ワークシート) (発表) (板書②)</p>	<p>〈思考・判断①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の整理 (ワークシート)</li> </ul> <p>〈知識・理解①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツの特徴の書き出し (ワークシート)</li> </ul>
2	イ スポーツの技術、戦術、ルールの変更	<p>[発問①] ルールや用具に変化のあったスポーツにはどんなものがあるか。 (ワークシート) (話し合い) (発表)</p> <p>○様々なスポーツについてのルールや技術、用具の変遷についてまとめる。 (資料) (ワークシート) (発表)</p> <p>[事例①] バレーボールのルール改正について、その理由を考える。 (資料) (話し合い) (ワークシート) (発表)</p> <p>[事例②] サッカーW杯米国大会のルール改正について学ぶ。(資料) (ワークシート) (発表)</p> <p>○メディアの発達とルール改正について学ぶ。 (板書①)</p>	<p>〈関心・意欲・態度①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して進んで取り組もうとする姿勢 (観察)</li> </ul> <p>〈知識・理解②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の読み取りと整理 (ワークシート)</li> </ul>
		[発問①] スポーツはなぜ変化してきたのだろうか。 (ワークシート)	<p>〈関心・意欲・態度①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発問に対して進んで検</li> </ul>

3		<p>[発問②] 今後、スポーツはどのように変化していくか、考えてみよう。 (話し合い) (ワークシート) (発表)</p> <p>[発問③] これからスポーツの変化にどんな問題が起こるのだろうか。 (話し合い) (ワークシート) (発表)</p> <p>○現代スポーツの発展と今後についてまとめる。 (板書①)</p> <p>[小単元(ア)(イ)の確認テスト] (テスト) (15分)</p>	<p>討する姿勢 (観察)</p> <p>〈思考・判断②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発問に対する検討と話し合いの内容 (ワークシート)</li> </ul> <p>〈知識・理解①・②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>確認テストの記載状況</li> </ul>
4	ウ オリンピックムーブメントとドーピング	<p>[発問①] 次回の夏季オリンピックは、いつ、どこで開催されるだろうか。</p> <p>[発問②] オリンピックのイメージを自由に言ってみよう。(発表)</p> <p>○近代オリンピックの歴史と政治・社会情勢についてまとめる。<u>資料2</u> (教科書 p. 107) (別紙ワークシート①)</p> <p>○オリンピックムーブメントについて学ぶ。 <u>資料3-1・2</u> (教科書 p. 107) (別紙ワークシート①) (板書①)</p> <p>○現代のオリンピックの意義、価値をまとめる。 (話し合い) (発表) (別紙ワークシート①) (板書②)</p>	<p>〈知識・理解③〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の整理 <u>資料4</u> (ワークシート①)</li> </ul> <p>〈関心・意欲・態度②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題に取り組み、内容を理解しようとする姿勢 (別紙ワークシート①)</li> </ul> <p>〈思考・判断③〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や話し合いの内容のまとめ (別紙ワークシート①)</li> </ul>
5		<p>[発問①] ドーピングはなぜ行なわれるのだろうか。 (話し合い) (発表)</p> <p>○後を絶たないドーピング問題を考える。(資料)</p> <p>[発問②] ドーピングによる健康被害には、どんなものがあるだろうか。(ワークシート) (発表)</p> <p>[発問③] ドーピングがもたらす人々への様々な影響とは。(話し合い) (発表)</p> <p>○ドーピングはなぜ許されないか。(まとめ) (板書①) (発表)</p>	<p>〈関心・意欲・態度②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いに進んで参加しようとする姿勢 (観察)</li> </ul> <p>〈思考・判断④〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見のまとめ (ワークシート)</li> </ul> <p>〈知識・理解④〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や話し合いの記載状況 (ワークシート)</li> </ul>
6	エ スポーツの経済的効果とスポーツ産業	<p>○スポーツに関連する職業を調べる。 (PCでの情報収集) (話し合いとまとめ) (発表)</p> <p>○スポーツ産業とは何か考える。(板書①)</p> <p>[発問①] スポーツ観戦に必要な費用を考え、計算しよう。(教科書 p. 112)</p>	<p>〈関心・意欲・態度③〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで情報収集しようとする姿勢</li> </ul> <p>〈知識・理解⑤〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収集した情報からの考察・まとめ</li> </ul>

7	(ワークシート) (話し合い) (発表) ○スポーツ産業の拡大と、スポーツの経済活動への影響力についてまとめる。(板書②)	(ワークシート) 〈思考・判断⑤〉 ・収集した情報からの考察・まとめ
	[発問①]よく知っているスポーツ選手、国際大会をあげてみよう。(ワークシート) (発表)  ○オリンピック放送権料について考える。(教科書 p.112) (ワークシート)  ○経済がスポーツを動かす。(まとめ) (教科書 p.112) (板書①)	〈思考・判断⑥〉 (ワークシート)
	[小単元(ウ)(エ)の確認テスト] (テスト) (15分)	〈知識・理解③④⑤⑥〉 ・確認テストの記載状況

(5) 展開例 (4時間目/7時間中: 1年生)

○本時のねらい

- ・近代オリンピックの歴史や政治・社会情勢について理解する。
- ・オリンピックムーブメントについて知り、現代のスポーツの文化的価値や社会的価値について考えることができる。

段階	学習内容と学習活動	教師の支援及び手立て	評価方法・機会
導入 5分	1 前時の復習 2 本時の説明 ・本時の学習内容を把握する		
	3 次回のオリンピック開催地について ・発問に対する答えを発表する。  4 オリピックのイメージ ・浮かんだイメージについて、ワークシートに記入する。 ・発問に対する答えを発表する。  近代オリンピックの歴史や政治・社会情勢について理解する。	[発問①] 次回の夏季オリンピックは、いつ、どこで開催されるだろうか。  [発問②] オリピックと聞いて、どんなことをイメージをするだろう。 【支援】最近の話題に触れ、活発に意見が出るように働き掛ける。	
	5 近代オリンピックの歴史と政治・社会情勢 ・教科書 p.107 図3の「歴代オリンピック夏季競技大会と参加状況」と「オリンピックと政治・社会情勢」(資料2)をよ	【支援】机間指導を行い、記入状況が十分でない生徒に助言して作業を進めさせる。 【板書】近代オリンピックが政治や社会的な影響を受けてきたことについて板書する。	〈知識・理解③〉 ・オリンピックの歴史と政治・社会情勢について、資料を整理分類ができる。 (ワークシート①資料4)

展 開  35 分	く見て、(ワークシート①資料4)に内容を整理する。	(世界大戦・民族紛争・政治的利用・テロ事件) <b>【留意点】</b> 近代オリンピックが、政治・社会情勢の影響を受けながらも、今日まで続けられてきたことを理解させる。	
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>オリンピックムーブメントについて知り、現代のスポーツの文化的価値や社会的価値について考えをまとめることができる。</p> </div>		
	<b>6 オリンピックムーブメント</b> ・(資料3-1・2)「オリンピズムとオリンピックムーブメント」を読み、内容を要約して(ワークシート①資料4)にまとめる。	<b>【留意点】</b> オリンピックムーブメントについて、その活動の根本となるオリンピックの理念を強調する。 <b>【板書】</b> オリンピックムーブメントの活動の柱と、活動の典型がオリンピック競技大会であることを板書する。	<b>〈関心・意欲・態度②〉</b> ・オリンピックムーブメントについて関心をもち、理解しようとしている。(観察)
	<b>7 現代のオリンピックの意義、価値</b> ・教科書p.107 5行～17行を読む。 ・グループで話し合い、オリンピックの意義、価値について意見を出し合う。 ・話し合いの内容を発表する。 ・ワークシートにオリンピックの意義、価値についてまとめる。	<b>【支援】</b> 机間指導を行い、互いに意見を言い合っていないグループには、参考資料の写真を見せ、考えをまとめさせる。 <b>【板書】</b> 発表された内容を板書する。国際親善と世界平和に大きな役割を果たしていることについて板書し、まとめとする。	<b>〈思考・判断③〉</b> ・現代オリンピックの意義・価値について、自分の意見や感想を述べている。 (ワークシート①資料4)
ま と め  5分	<b>8 本時のまとめ</b> ・本時の学習を振り返る。 <b>9 次時の説明</b> ・次時の課題を把握する。		

### 3 授業の様子

授業を実施するに当たり、担当するクラスに対して体育理論の学習内容にかかわる項目から「スポーツに対する意識」について調査した。回答方法は選択式で、一部にスポーツの種目を記述する質問項目を入れた。(資料1)

この調査結果では、二つの顕著な結果が得られた。一つは、生徒自身の実践するスポーツへの興味・関心と向上心について性差が明確で、男子生徒の肯定的回答の割合が非常に多いこと。二つめは、男女ともに他項目と比較して、スポーツの歴史への興味・関心が低いことである。

これらの結果を考慮し、近年、話題性の高い事例を授業で取り上げたところ、スポーツに関心の高い男子生徒を中心にあちこちから発問に対する反応があった。あまり自信がない様子だった女子生徒も、周辺の者と言葉を交わしながら、オリンピックに対するイメージについていくつか意見を出せるようになり、ワークシート①資料4による課題への移行はスムーズであった。資料の読み取りと整理、内容の要約などの作業時間を長めに取って机間指導を行ったため、前半のワークシート①の記述状況は概ね良好であった。

しかし、終盤の現代オリンピックの意義、価値の学習については、グループによる意見交換の時間の確保が十分でなく、教師側が一方的にまとめる展開になってしまった。自分の意見を積極的に話すことが不得意な生徒が多いため、イメージが浮かびやすく、話題として取り上げやすいオリンピックについての話を学習内容に取り入れたが、意図した通りに進められなかったのは反省点として挙げられる。

## 4 評価の例

ワークシート①資料4の記載状況から評価していくと、ほとんどの生徒は、学習のねらいに沿った形で学習することができた。ここでは、発問に対する自分の解答を記入することで、資料2、資料3-1・2を読み取って近代オリンピックの歴史と政治・社会情勢について整理すること、オリンピック・ムーブメントについて資料を読み、要旨をまとめることである。

特に、ワークシート①の記載状況からは、現代スポーツの典型あるいは象徴的な存在であるオリンピックが、文化的あるいは社会的価値のあるものとしておおまかに捉えられていたことが読み取れた。それは、オリンピックのイメージを問うた部分で、単語の羅列に終始せず、世界平和や国際交流に貢献するものとして文で記述されていた。また、記載状況から判断して十分に満足できるとはいえない生徒（Cの生徒）に対しては、机間指導をしながら、日本人が活躍して話題になった競技や選手名をあげるなど、興味をもてるような言葉かけを行うことでその取組を促した。

## 5 成果と課題

### (1) 成果

4時間目の展開における成果として、次のようなことが挙げられる。

#### ア 体育理論を学習しようとする意識の芽生え

実践後、対象となったクラスの生徒に対し、「体育に関するアンケート」資料5について実践前と全く同じ形式で再調査した。その分析から、全体としては、生徒の反応及び学習への取組は良好であった。事後調査の結果から、以前よりスポーツの歴史に興味・関心の高かった男子生徒の関心が更に高まったこと、関心があるとはいえないとしていた女子生徒の中で興味をもてたという者が増えたことなどが読み取れた。

アンケートの数値の上では期待していた変化がみられなかったが、運動やスポーツに対して好意的に捉えていない傾向がみられた女子生徒が、スポーツの歴史や文化的価値、大会等への興味・関心等、わずかではあるが改善した項目があった。

ほとんど予備知識のない状況での体育理論の実践であったことを考慮すれば、一定の成果があったと考えられる。

#### イ 体育理論を学習したことによる運動・スポーツに対する関心・意欲の向上

授業後の「体育に関するアンケート」資料5の結果、調査前に期待していたような大きな変

化はみられなかったが、今後の指導に生かしていくべきであると判断し、細部にわたってその集計結果について検討を行い、当初よりスポーツに対する意識の差が男女で違っていたので、男女別に結果を検討することにした。

まず、男子生徒についてみると、多くの生徒は実践前から自身のスポーツへの関心と技術に対する向上心をもっており、さらに関心・意欲が高まったことがうかがえた。この実践では実技の単元は陸上競技（長距離走）であり、取組の様子は良好であった。自己の記録向上を目標とした学習活動が実施できたことは、体育理論の実践と全く無関係ではないと考えられる。また、実践前に若干名が各項目において「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と否定的回答をしていたが、実践後は「どちらともいえない」と、中立的回答に増え、否定的に回答していた生徒が減少した。（資料5）

一方、女子生徒の場合、実技の単元が長距離走であったことで、意識調査にあまり影響を与えなかったと推察される。しかし、自身にとってのスポーツの有用性における否定的回答の減少、将来にわたってのスポーツの継続についての肯定的回答の増加など、項目によっては良い傾向がみられた。（資料6）

## （2）課題

### ア 学習効果を上げるための年間計画の工夫

体育理論の学習と実技の単元との関連性を深め、理論と実技双方のより効果的な学習ができるように、体育理論の単元を実施する時期と小単元のまとまりを考えた時数などの配置について、よく検討することが必要である。また、その成果について検証を行い、翌年度の学習計画に反映させていくことが望ましい。

### イ 教材研究や学習方法の工夫

これからは、生徒の体育理論に対する学習への関心・意欲をより高めるために、発問の内容や、どのような学習活動を行うか、どのような事例を取り上げるか等、よりよい授業のための研究を重ねていくことが必要である。

その際、意識調査の結果でも明らかとなった、運動やスポーツに対する意識の男女差の大きさに配慮しながら、男女ともに運動やスポーツへの関心・意欲を高め、将来にわたる豊かなスポーツライフの実践に向けて自ら学ぶ意欲を高められるよう、体育理論の学習指導に取り組んでいくことが求められる。

## 使用教科書

- ・『最新保健体育』（大修館書店）

## 参考文献

- ・高等学校保健体育授業改善研究会編著『高等学校新学習指導要領の展開保健体育科編』（明治図書）
- ・最新保健体育指導ノート『体育編』（大修館書店）
- ・公益財団法人日本オリンピック委員会ホームページ「オリンピック憲章」  
<http://www.joc.or.jp/olympism/charter/pdf/olympiccharter2007.pdf>

## 体育に関するアンケート

体育科

このアンケートは保健体育の授業をよりよいものにするための資料とするものです。各質問に対して、皆さんが感じたことを素直に回答してください。

年	組( 男・女 )	実施日	平成	年	月	日
---	----------	-----	----	---	---	---

各質問項目について

1	2	3	4	5
あてはまる	ややあてはまる	どちらとも いけない	あまり あてはまらない	あてはまらない

以下の質問に回答して下さい。また、答えが1または2の場合、( )に種目も記入して下さい。

- |                           |   |   |   |   |   |
|---------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 スポーツをすることが好きである。        | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| → 1または2の回答の人 種目 ( )       |   |   |   |   |   |
| 2 スポーツを見る(観戦する)ことが好きである。  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| → 1または2の回答の人 種目 ( )       |   |   |   |   |   |
| 3 スポーツの歴史に興味・関心がある。       | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| → 1または2の回答の人 種目 ( )       |   |   |   |   |   |
| 4 スポーツのイベント(大会)に興味・関心がある。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| → 1または2の回答の人 種目 ( )       |   |   |   |   |   |
| 5 スポーツは文化的価値のあるものである。     | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 スポーツは人々の平和に役立つものである。    | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7 スポーツは国際交流に役立つものである。     | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8 スポーツは自分にとって役立つものである。    | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9 スポーツが上達したい。             | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| → 1または2の回答の人 種目 ( )       |   |   |   |   |   |
| 10 高校卒業後もずっとスポーツを続けていきたい。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| → 1または2の回答の人 種目 ( )       |   |   |   |   |   |



1936年 ベルリン大会 (ドイツ)	ヒトラー率いるナチスは、自国のプロパガンダ(政治的意図を持つ宣伝)としてオリンピックを徹底的に利用した。
1956年 メルボルン大会 (オーストラリア)	スエズ動乱やハンガリー動乱に絡んで、オランダやスペインなど6カ国が大会出場をボイコットした。また、中国は台湾(中華民国)の参加に抗議し、大会出場を取りやめた。
1968年 メキシコ大会 (メキシコ)	陸上競技男子200m走の表彰式で、金メダルを獲得した米国黒人選手トミー・スミス選手と銅メダルのジョン・カルロス選手が、ブラックパワーの象徴である黒手袋をつけて表彰台上がり、人種差別に抗議するために黒手袋にくるんだ拳を掲げるパフォーマンスを行った。
1972年 ミュンヘン大会 (ドイツ)	大会期間中に、パレスチナゲリラが選手村へ潜入し、イスラエルの選手・役員を人質にとり、2名を射殺、イスラエル政府に政治犯の釈放を要求した。結局、救出作戦は失敗に終わり、9名の人質は全員死亡した。
1976年 モントリオール大会 (カナダ)	大会前、人種差別政策を行っていた南アフリカヘンニューギーランドのラグビーチームが遠征したことを巡り、アフリカ諸国(約20カ国)が大会出場をボイコットした。
1980年 モスクワ大会 (ソビエト連邦)	1979年のソ連によるアフガニスタン侵攻に抗議して、米国が大会出場のボイコットを宣言、同調を求められた西側諸国もそれに応じた。結局、米国や西ドイツ、日本、韓国など約45カ国がボイコットした。
1984年 ロサンゼルス大会 (アメリカ合衆国)	モスクワ大会へ米国を中心とした西側諸国が参加しなかったことへの対抗措置として、ソ連、東ドイツ、キューバなどの社会主義諸国が大会出場をボイコットした。
1988年 ソウル大会 (韓国)	一時は、韓国と北朝鮮による共同開催や統一代表団の結成の動きもみられた。しかし、大会開催の前年に勃発した大韓航空機爆破事件により、南北関係の緊張が高まり、すべて白紙となった。
2004年 アテネ大会 (ギリシャ)	イラク戦争後初めてのオリンピック大会ということで、テロに対する厳戒体制がしかれた。上空からは飛行船による監視が行われ、選手村に近い空港にはパトリオット・ミサイル(地対空誘導弾)までもが配備された。

## オリンピック憲章より抜粋(2007)

## 前文

近代オリンピックの生みの親はピエール・ド・クーベルタンであり、1894年6月にその主導により、パリ国際アスレチック・コンGRESが開催された。国際オリンピック委員会（I O C）が設立されたのは1984年6月23日であった。最初の近代オリンピック競技大会（オリンピック大会）はギリシャのアテネにおいて1896年に開催された。1914年にはピエール・ド・クーベルタンによりパリ・コンGRESで提案されたオリンピック旗が採用された。その旗は互いに重なり合う五つの輪からなり、五つの大陸の団結と、世界中の競技者たちがオリンピック競技大会に集うことを表している。最初のオリンピック冬季競技大会は1924年、フランスのシャモニーで開催された。

## オリンピックの根本原則

1. オリンピズムは人生哲学であり、肉体と意志と知性の資質を高めて融合させた、均衡のとれた総体としての人間を目指すものである。スポーツを文化や教育と融合させるオリンピックが求めるものは、努力のうちに見出される喜び、よい手本となる教育的価値、普遍的・基本的・倫理的諸原則の尊重などに基づいた生き方の創造である。
2. オリンピズムの目標は、スポーツを人間の調和の取れた発達に役立てることにある。その目的は、人間の尊厳保持に重きを置く、平和な社会を推進することにある。
3. オリンピック・ムーブメントは、オリンピックの諸価値に依って生きようとする全ての個人や団体による、I O Cの最高権威のもとで行われる、計画され組織された普遍的かつ恒久的な活動である。それは五大大陸にまたがるものである。またそれは世界中の競技者を一堂に集めて開催される偉大なスポーツの祭典、オリンピック競技大会で頂点に達する。そのシンボルは、互いに交わる五輪である。
4. スポーツを行うことは人権の一つである。各個人はスポーツを行う機会を与えられなければならない。そのような機会は、友情、連帯そしてフェアプレーの精神に基づく相互理解が必須であるオリンピック精神に則り、そしていかなる種類の差別もなく、与えられるべきである。スポーツの組織、管理、運営は独立したスポーツ団体によって監督されなければならない。
5. 人種、宗教、政治、性別、その他の理由に基づく国や個人に対する差別はいかなる形であれオリンピック・ムーブメントに属することとは相容れない。
6. オリンピック・ムーブメントに属するためには、オリンピック憲章の遵守及びI O Cの承認が必要である。

## オリンピック・ムーブメントとその活動

### I オリンピック・ムーブメントの構成と全般組織

1. 最高機関である I O C のもとで、オリンピック・ムーブメントは、オリンピック憲章を指導原理とすることに同意する各種組織、選手、その他の人々を統轄する。オリンピック・ムーブメントの目的は、オリンピズムとその諸価値に従いスポーツを实践することを通じて若者を教育し、平和でよりよい世界の建設に貢献することである。
2. オリンピック・ムーブメントの三つの主要な構成要素は、国際オリンピック委員会（I O C）、国際競技連盟（I F）、国内（地域）オリンピック委員会（N O C）である。オリンピック・ムーブメントにいかなる形で属する何人もどの団体もオリンピック憲章の条文に拘束され、かつ I O C の決定に従わなければならない。
3. 上記の三つの主要な構成要素に加え、オリンピック・ムーブメントには、オリンピック競技大会組織委員会（O C O G）、I F や N O C に所属する国内での統轄団体、クラブ、個人、そして特にその利害がオリンピック・ムーブメント活動の根本的な要素をなす選手、さらにジャッジ、審判員、コーチその他の競技役員や技術要員も含まれる。また、I O C が承認したその他の組織や団体も含まれるものとする。

### II I O C の使命と役割

I O C の使命は、世界中で『オリンピズム』を推進することと、オリンピック・ムーブメントを主導することである。I O C の役割は：

1. スポーツにおける倫理の振興およびスポーツを通じた青少年の教育を奨励、支援するとともに、スポーツにおいてフェアプレーの精神が隅々まで広まり、暴力が閉め出されるべく努力すること。
2. スポーツおよび競技大会の組織、発展、調整を奨励、支援すること。
3. オリンピック競技大会が定期的開催されることを保証すること。
4. スポーツを人類に役立て、それにより平和を推進するために、公私の関係団体、当局と協力すること。
5. 団結を強めオリンピック・ムーブメントの独立を守るために行動すること。
6. オリンピック・ムーブメントに影響を及ぼす、いかなる形の差別にも反対すること。
7. 男女平等の原則を実行するための観点から、あらゆるレベルと組織においてスポーツにおける女性の地位向上を奨励、支援すること。
8. スポーツにおけるドーピングに対する闘いを主導すること。
9. 選手の健康を守る施策を奨励、支援すること。
10. スポーツや選手を、政治的あるいは商業的に悪用することに反対すること。
11. 選手の社会的かつ職業的な将来を保証するためのスポーツ組織および公的機関の努力を奨励し、支援すること。

12. 「スポーツ・フォア・オール」の発展を奨励、支援すること。
13. 環境問題に関心を持ち、啓発・実践を通してその責任を果たすとともに、スポーツ界において、特にオリンピック競技大会開催について持続可能な開発を促進すること。
14. オリンピック競技大会のよい遺産を、開催国と開催都市に残すことを推進すること。
15. スポーツを文化や教育と融合させる試みを奨励、支援すること。
16. 国際オリンピック・アカデミー（IOA）の活動、およびオリンピック教育に献身するその他の団体の活動を奨励、支援すること。

1年体育「体育理論」『オリンピックムーブメント』

1年 組 番 氏名

1. 次回開催の夏季オリンピックは？

いつ ( ) 2012年 ( )  
どこで ( ) 2016年 ( )

2. オリンピックに対するイメージ (自由記述)

3. 近代オリンピックの歴史と政治・社会情勢について

①世界大戦による大会中止

いつ ( ) 大会名 ( )  
いつ ( ) 大会名 ( )  
いつ ( ) 大会名 ( )

②ボイコットにより、参加国が減少したのはいつ、どの大会か？

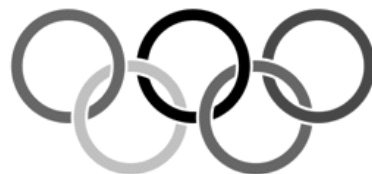
いつ ( ) 大会名 ( )  
いつ ( ) 大会名 ( )  
いつ ( ) 大会名 ( )  
いつ ( ) 大会名 ( )

しかし、\_\_\_\_\_のもとに発展を続けてきたのがオリンピックである。  
1896年に14カ国で始まった大会は、前回2008年は200を超える国と地域、1万人を超える選手の参加するスポーツの祭典となっている。

4. 「オリンピックムーブメント」

5. 現代オリンピックの意義、価値

五輪マーク



体育に関するアンケート（結果）

男子結果

あてはまる
  ややあてはまる
  どちらともいえない
  あまりあてはまらない
  あてはまらない

(n=16)

(質問)

(上段:授業前、下段:授業後)

(数字はパーセント)

1 スポーツをすることが好きである。	87.5		6.25	6.25
	93.75		6.25	
2 スポーツを見る(観戦)することが好きである。	56.25		18.75	12.5
	56.25		25	12.5
3 スポーツの歴史に興味・関心がある。	12.5	18.7	43.75	
	25	6.25	50	6.25
4 スポーツのイベント(大会)に興味・関心がある。	37.5		18.75	31.25
	25	37.5	18.75	12.5
5 スポーツは文化的価値のあるものである。	43.75		25	12.5
	31.25	31.25	31.25	6.25
6 スポーツは人々の平和に役立つものである。	43.75		25	18.75
	43.75	25	25	6.25
7 スポーツは国際交流に役立つものである。	56.25		43.75	
	62.5		25	6.25
8 スポーツは自分にとって役立つものである。	81.25		12.5	6.25
	81.25		12.5	6.25
9 スポーツが上達したい。	87.5		6.25	6.25
	87.5		12.5	
10 高校卒業後もずっとスポーツを続けていきたい。	62.5		18.75	12.5
	62.5		18.75	18.75

資料 6

女子結果

あてはまる
  ややあてはまる
  どちらともいえない
  あまりあてはまらない
  あてはまらない

(n=16)

(質問)

(上段:授業前、下段:授業後)

(数字はパーセント)

1 スポーツをすることが好きである。	22.2		33.3	33.3
	22.2		27.8	11.1
2 スポーツを見る(観戦)することが好きである。	28.8		16.7	27.8
	27.8		22.2	11.1
3 スポーツの歴史に興味・関心がある。	5.6	27.8	27.8	
	5.6	11.1	22.2	33.3
4 スポーツのイベント(大会)に興味・関心がある。	5.6		50	33.3
	16.7	5.6	27.8	11.1
5 スポーツは文化的価値のあるものである。	16.7		22.2	33.3
	27.8	11.1	50	16.6
6 スポーツは人々の平和に役立つものである。	23.5		17.7	35.3
	22.2	27.8	44.4	5.9
7 スポーツは国際交流に役立つものである。	33.3		33.3	22.2
	44.4		16.7	11.1
8 スポーツは自分にとって役立つものである。	27.8		27.8	16.7
	27.8	22.2	38.9	11.1
9 スポーツが上達したい。	33.3		27.8	27.8
	38.9		16.7	5.6
10 高校卒業後もずっとスポーツを続けていきたい。	5.6	72.2		16.7
	16.7	5.6	55.6	5.6